

匹見地域協議会（第3回）会議次第

日時 平成29年10月4日（水） 14:00～
場所 匹見タウンホール 集会ホール

出席者（委員） 藤谷一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子
溝田洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士
（益田市） 山本市長・河上政策企画局長・野村政策企画課長
山口支所長・藤井住民福祉課長・藤井地域づくり推進課長
露口建設課長
事務局（桐木・小田）

1 開会

2 会長あいさつ

3 市長あいさつ

4 【議題】

支所機能の見直しについて < 資料 >

5 その他

次回開催 平成 年 月 日（ ） 時 分～

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会 議 名	平成 29 年度 第 3 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 29 年 10 月 4 日（水） 14 時～16 時 50 分
開催場所	益田市匹見タウンホール 集会ホール
出席者	・ 匹見地域協議会委員（7 名） ・ 市長、政策企画局長、政策企画課長、行革推進室長 ・ 匹見総合支所：山口支所長 住民福祉課：藤井課長、桐木補佐、小田 地域づくり推進課：藤井課長 建設課：露口課長

【会長あいさつ】

本日の議題は支所機能の見直しについてである。地域協議会での説明も無く、新聞でこのことについて報道があり、町民からも説明を求められたりし対応に苦慮していた。執行部からの説明を聞き、皆さんの貴重な意見を伺い、よりよい地域になるようしていきたい。

【市長あいさつ】

支所機能の見直しについては 9 月 14 日の総務文教委員会において、これから地域協議会に対し説明をしていくという報告をしたところである。このことが大きく新聞報道され、委員の皆さんにも住民からの色んな声が届いている事も伺っている。本日は丁寧に説明をし、ご意見ご質問を承りたい。

【議題】

支所機能の見直しについて <資料 河上政策企画局長より説明>

- ・ 支所機能の見直しについて、資料に沿って説明。
- 支所機能を強化する事によって、地域の活性化、地域振興を図っていきたい。益田市の施策として地域振興を進めていきたい。
- 予算と企画は本庁で所管する。本庁が中心となって企画計画をおこないながら、支所と連携を取り推進していく事が事業推進がスムーズに進むのではないかという事を基本的な考え方としている。
- 見直し後は政策企画局長が支所長を兼務。
- 振興課長を配置し地元の対応をまず担う。各部間との調整もおこなう。
- 各分室を 3 つ設ける。現段階として分室長は課長補佐級を考えている。
- 諸証明の交付や健康づくり、道路維持など住民に直結する機能については従来通り支所で出来る。

《質疑・意見》

- 支所の機能の見直しを含めた機構改革については、住民に対して丁寧な説明をされ、地元意見聴取し問題の部分を洗い出し協議をした上で進めてほしい。
- ▷ 今回の支所機能の見直しについては、いわゆる機構改革の案件になる。これまでも基本的には庁内

で検討し、検討結果を議会に報告し進めておくことである。総合支所に関わる事ではあるが、あくまでも庁内体制の変更であるので、今回のような手順を踏んだという事をご理解頂きたい。

- 匹見の地域課題が本庁に正確に伝わっていくような仕組みづくりをきちんと構築して頂きたい。
 - ▷ 現在の体制であれ、見直し後の体制であれ、地域の課題や情報がきちんと政策決定の場に伝わり、その上での確な政策判断をしていくことの重要性は変わらない。引き続き努めたいと考えている。
- これまで総合支所長がおられ担当課があった中で色々な要望を出しても叶わなかった事が多かったように感じる。今後支所の見直しを行い振興課長を置いて地域の声を吸い上げていくと言われたが、果たしてそれが本当にそのようになっていくのか不安を感じる。
 - ▷ 今後も住民の声や切実な要望など受け止め感じ取る努力は続けていかななくてはならないと思っ
- 課長職を配置する事についてはどのくらい協議されたのか。
 - ▷ 振興課長という管理職1名を配置するのは、災害等ある意味重要な判断をせざるをえない場合や支所の職員管理をするというところが大きなポイントである。
- 4月1日から新しい機構でスタートしようとするにはスケジュール的に厳しいのではないかと。まだまだすり合わせする必要があるのではないかと。
 - ▷ 合併後13年経過したが支所は支所として解決しないといけない課題が多くある。4月1日を目指して努力はしていくが、課題の部分は徐々に解決はしていかないとはいけないと考えている。
- 合併時に一番心配された事は地域が疲弊するのではないかとという事であった。この度の見直しについては支所機能の縮小となり、具体的に職員が何名配置されるのか、具体的な業務の内容などがわからず不安がある。災害時の対応等、危機管理についてもどう考えておられるのか。突き詰めて具体的に話をしていかにいけないのではないかと。
 - ▷ まずは地域協議会の中で意見を頂きながら方針を決めていき、今度は詳細を詰めていくという作業をしていく。災害時の対応についても危機管理上色々な事を含めて考えていかないとはいけないと考えている。
- 振興課長が3つの分室の業務を一人で全部統括し把握されて、本庁にあげていく事は可能なのか。
 - ▷ 基本的には仕事は縦流れでいくが、色々な課題や頂いたご意見等を振興課長が把握しながら政策企画局にあげ話をしていくという事になる。もう一つ職員管理の部分で管理職を総合支所に配置して取り組むという事が基本にある。
- 本庁と支所との職員間の情報の共有がうまくいかないと、これまでと変わらないのではないかと。職員数が減った分悪くなるのではないかと。
 - ▷ 現状では単純に人口当たりの職員数を見たときには匹見が一番多く、その次に美都、益田が一番少ない。これまでは美都、匹見の事はそれぞれの地域でやるべきとなっていたが、今回の見直しは益田市役所の中にある何十課がそれぞれ美都、匹見の業務を自分の責任として見るという事である。行政のカバーする範囲は年々増え、財源は年々細くなってきている。今の体制で地域課題に対応できるかと言えばもう限界に来ているというのが本音のところである。政策企画局長がトータルの調整をし、振興課長が各分室の業務の調整を図る、匹見の地域課題に対する市役所機能の強化という見直しであるという事を理解頂きたい。
- 今ある事務分掌はどうなるのか。そのまま残るのか。調整の仕方を配慮しないと住民サービスの低下に繋がる事になりかねない。そういう事を含めて検討してほしい。
 - ▷ まずは見直しの方向性を決め、それから詳細を詰めていく。事務分掌表だけでは語れない部分があるのは認識している。そういう部分を含め細部に渡って調整した後、実務的な業務をどうするか調

整していく事になると考えている。

- 支所に勤務している臨時・嘱託職員については今後どのように考えられているか。今回の見直しを不安に思っておられる方がいる。
 - ▷ 現段階では回答できない。市役所全体でも臨時・嘱託職員はおられ、そのへんとの調整もある。過去から引き継がれてきた部分もあり、それを全部ゼロにしてスタートを切るという気持ちは現段階では無い。
- 例えば農業委員会の事務局などは本庁の事務局と出先の事務局を置くような体制を考えて頂きたい。業務が複雑になってきており出先に事務局を置いてもらわないとなかなか活動が難しい。
 - ▷ 農業委員会や土地改良区など、各関係団体への具体的な話はまだ出来ていない。まずは地域協議会でこの方針について了解がないと、細部の調整に入ることが出来ない。今後事務局の体制等どこまでどう出来るか相談をさせて頂きたい。
- 了解を得てから進めると言われたが、執行部としてはこの方針で進めるという意味で説明をされたのではないか。機構改革を進めていくのであれば、きちんと協議をした中で進めてもらいたい。
 - ▷ 率直に言うと言明したとおりに進めていきたいという事である。地域協議会に説明してからでないと前に進めない。段階を踏んでから色んな関係機関との協議で細部を示していく事になると思う。まずは今日是非ご理解を頂いて、これで進めていきたい。細部については今後詰めていきその後の地域協議会でも詳細を説明したい。
- 住民に影響が無いような、地域が更に発展していけるような方法を考えて機構改革をやってほしい。色んな問題があると思うが、それをいかにカバーするかという事が今後の課題になると思う。合併以後人口は減少し、地域が消えていくのではないかと不安がある。この地域が抱えている切実な問題を本庁はどう考えているのか。この地域を守っていきたくと住民も思っている。行政もどういった支援が出来るのか考えて頂きたいという思いがある。
 - ▷ 本日たくさん意見を頂いた。今回の機構改革の進め方の手順に対するお叱りの言葉もあり、この進め方については執行部側の理屈で進めたところであるが、反論を頂いた事は事実であるので、ここは今後活かしていきたいと思う。支所機能を見直す事によって地域振興の充実を図るという目的にかなうように細部を詰めていきたい。ましてや細部において問題が生じないように一つ一つ具体的に問題を洗いながら支障なく進めていけるように検討をおこなっていく。進行の状況ごとに地域協議会にも議会にもお示しをしていきたいと考えている。

【その他】

- 前回の協議会で新市建設計画の進捗状況について説明があったが、意見書の内容を精査して再度協議をするという話になったと思うが。早めに協議しなければならないのではないかと。
 - ▷ 現在はほとんどの事業について進んでいないという報告があった。地域協議会も残り2年しかない。内容の精査については早く協議をしなければならない。次回の協議会では話を進めていきたいと思う。
- 今年度の大きな課題として萩石見空港の2便化継続について取り組みをおこなってきた結果、その継続が決定された。一点報告させて頂く。

以上。